

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2022年07月119号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

のほどお願い申し上げます。

▼住宅瑕疵保険をご提供することとて、建設業の皆様にご利用いただけるように幅広くお役立て頂けたら幸いです。今後ともお引き立て

▼「この前のインタビューの会社もおたくで保険に入ったと？あそこはよく知ってるよ」といった感じで、弊社のご契約者同士

▼紙面の都合上、多くはご紹介できずに残念ですが、共通して感じることは、「とにかく前に進む、何かやってやろう、立ち止まっている暇などない」という強烈なパワー。いつも勉強させて頂いております。役得です。

▼先月より住宅瑕疵担保責任保険法人（株）住宅あんしん保証の募集人登録を経て、瑕疵保険の取り扱いを始めました。

▼瑕疵保険は、工事した部分の瑕疵について、施主に対して工事業者が負う瑕疵担保責任を履行するために加入する保険です。

ご説明が必要な方はお気軽にお問い合わせください。

いっせ
あつなひつぎます



国土交通大臣指定 住宅瑕疵担保責任保険法人
国土交通大臣登録 住宅性能評価機関
株式会社住宅あんしん保証
ロゴマークです。

生命保険お役立ち一口情報

世の中には実に多くの保険商品で溢れています。将来のリスクに対して「あれも心配、これも心配」と考えすぎると、たくさんのお金が入りがちです。これではお金のいくらかあっても足りません。また新型コロナウイルスの影響を受けて収入が減ってしまった人もいられるかもしれません。保険は複雑だと考えがちですが、「生命保険=死亡保険」と考えるととてもシンプルです。そもそも生命保険は一家の稼ぎ手の死亡リスクに備えるために加入するもの。



死亡というリスクに対して保険金が支払われるシンプルな保険に加入しましょう。お祝い金つきの保険もありますが、お祝い金は保険会社からのプレゼントではありません。その分の保険料を負担しているのは私たちなのです。「シンプルイズベスト」で保険を選びましょう。



手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。

今月のお客さまインタビューから「クエってどんな魚なんだろう?」と思ったら、とんでもない高級魚でした。クエは希少価値が高く、体長1.5m、体重50kgほどの大きさまでに成長するには、30~40年かかるそうです。寿命も長いおめでたい魚なんです。とにかく美味しく「クエを食べたら他の魚はクエン」と言われるほど。クエ釣りは大物釣り師のロマン。なかなか釣るのは難しいようですが、一度は釣り上げてみたいものですね。

ハラスメントの企業対応責任 職場の変革が求められています



近年、様々なハラスメントに対する企業側の対応責任が特に目立ってきています。

例えば部下から「取引先からセクハラを受けて困っている」と相談を受けた際、「大事にたくないから上手く受け流せ」などと言ってしまうと、男女雇用機会均等法違反の恐れがあります。被害者である部下に我慢するよう求めたり、担当を変えただけで調査を行わなかったりするのには、行政指導や企業名の公表などのペナルティだけでなく、安全配慮義務違反として部下から

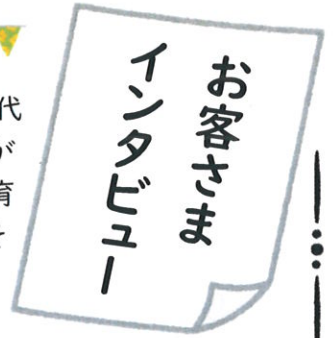


民事訴訟を起こされるリスクもあります。

また、職場のハラスメントで最も多いともいわれるのがパワハラです。法的には通常

の業務との線引きが難しく、被害を訴え出た人だけでなく、職場の他の同僚達にモヤモヤ感が広がることも。結果として他の社員の離職につながったり、職場内のやる気低下により生産効率が落ちたりするなど、経営にダメージを与えかねません。

職場にまつわる法令やルールが大きく変わるなか、ハラスメント対応に関する企業の責任が増しています。同僚への冗談めいた軽口や管理職の間での従業員情報の共有など、以前は当たり前だった行為が違法に問われる例も出てきているので、これまでの職場の慣習を再点検し、働きやすい環境づくりが求められています。



今月は、下益城郡美里町のめぐみ工業株式会社の川崎社長の奥様にお話を伺ってきました。

——事業内容と沿革をお聞かせください。

防水・塗装工事業で、2012年に社長が20代の頃、熊本に来て個人事業主として創業しました。令和元年には今の「めぐみ工業」に名称を変更して、去年の11月に法人化しました。

——名称変更には何か理由があったのですか？

社長が将来は飲食業もやりたいという考えがあって、川崎防水工業だと限定的な感じだったので幅広く展開できるようにちょっと名前を変えようかということでした。

——従業員の教育方針が大変興味深いのですが。

従業員は独立前提で育てるようにしています。この仕事に携わっていると自分でやりたいという人が多くて。昔は10年位は修行しないと、みた



奥様です。

いな感じがありましたが、時代のスピードに合わせて社長が集中的に教えて3年ほどで育て上げるようにしています。そして「おめでとう!」って独立させています。そのほうが若い人はやる気が出るみたい。社長のポリシーは絶対に途中で諦めて辞めさせないこと。自分らの時代の育て方では今の人には通用しないと言っています。

——社長は釣りがご趣味なんですね。

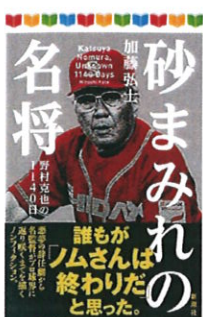
もう20年位はクエ釣り専門ですね。先日も社員を連れて行ったら、若い社員が初めての釣りでクエを釣り上げてとても喜んでいましたよ。せっかくなので釣り好きの人に入社してもらいたいですね(笑)。

7月中旬に別事業として天草市五和町にゲストハウスをオープン予定。ご家族で夏休みの思い出作りはいかがですか?詳しくはQRコードで→



TABIWAIRODORU1118

砂まみれの名将
野村克也の 1140 日



お全ての人に勇気を
与える一冊です。

私的にも野村監督には好感を持ってます。ジャンルを超えて、懸命に毎日の仕事に取り組む全ての人に勇気を与える一冊です。

不世出の野球人、野村克也をテーマにした本は数多く刊行されていますが、本書は夫人の不祥事が原因で阪神の監督を去った野村が、2002年に就任した社会人野球シダックスでの3年間を綴っています。華やかなプロ野球の世界から一転、市営グラウンドで社会人選手を指導することになった野村。でも逆に「野球そのものの楽しさ」を思い出させます。他紙の記者もめったに出来ない砂埃の練習場で熱心に取材を続けたのが著者の加藤弘士です。加藤は当時、野村からかけられた「見ている人は、必ず見ている」という言葉に記者としての自分を形作ったと振り返っています。

乱読コーナー